

《俺俺》

图书基本信息

书名：《俺俺》

13位ISBN编号：9784104372034

10位ISBN编号：410437203X

出版时间：2010-6

出版社：新潮社

作者：星野智幸

页数：251

版权说明：本站所提供下载的PDF图书仅提供预览和简介以及在线试读，请支持正版图书。

更多资源请访问：www.tushu000.com

《俺俺》

内容概要

マクドナルドで隣り合わせた男の携帯電話を手に入れてしまった俺は、なりゆきでオレオレ詐欺をしてしまった。そして俺は、気付いたら別の俺になっていた。上司も俺だし母親も俺、俺でない俺、俺ではない俺、俺たち俺俺。俺でありすぎてもう何が何だかわからない。電源オフだ、オフ。壊ちまうす。増殖していく俺に耐えきれず右往左往する俺同士はやがて。孤独と絶望に満ちたこの時代に、人間が信頼し合うとはどういうことか、読む者に問いかける問題作。

《俺俺》

作者简介

星野 智幸

1965年ロサンゼルス生まれ。早稲田大学第一文学部を卒業後、新聞記者をへて、メキシコに留学。97年「最後の吐息」で文藝賞を受賞。2000年「目覚めよと人魚は歌う」で三島由紀夫賞、03年『ファンタジスタ』で野間文芸新人賞を受賞した(本データはこの書籍が刊行された当時に掲載されていたものです)

《俺俺》

精彩短评

- 1、在日本好不容易买到的书。。MS因为咩咩要主演，所以。。从东京找到大阪，全部呈断货状.....这是我看的第一本全日语的小说。。完全看的云里雾里。只能看懂30%左右。。所以，果断还是期待一下Kame的电影上映再去看个明白吧~
- 2、亀ちゃんが主演した映画の原作、面白くて発想力がすごい
- 3、最後幾個有點覺悟的「俺」創造出了一個新的小宇宙ORZ不過裏面的“無表情坐電車”“不認識也可以聊下去”之類的現象，現在哪裡都很嚴重哎。大家雖然長相不一樣，內心其實都是一樣的「俺」
- 4、好想看！
- 5、沒看懂。

章节试读

1、《俺俺》的笔记-第269页

“俺”就是每次吃飯就是麥當勞
然後每次都是ビッグマック、サラダ、爽健美茶
每次都是固定的菜單.....
只有一次跟人賭氣買了別的食物
然後就不願吃
還說自己不是簡單的食物粉碎機.....
你是有多傲嬌啊--

新潮社文庫本

2、《俺俺》的笔记-第326页

新潮社文庫本

時代が違うから俺達には関係ない、なんて思っちゃいけない。これは他人事じゃない。お前たちが忘れた途端、お前たちもたちまち俺俺になっちゃう。俺俺は、お前たちが現在や昔を見ないようにして忘れちゃうことを、こっそり待っている。だから、頼む、覚えておいてくれ。そして自分たちが誰だか、忘れないでくれ。

每個人在社會上都有很多身份，大家的身份都是類似的。父母的孩子，妻子的丈夫，孩子的父母，上司的下屬，下屬的上司，同級生的朋友.....
忘記自己的話就只能變成人云亦云的「俺俺」。

3、《俺俺》的笔记-第175页

田島はしきりに舌なめずりを繰り返しながらそう言って、俺のトレーを示した。俺はポテトを数本つまんだだけで、フィレオフィッシュもコーヒーモテをつけていなかった。食べたくなかった。俺は食物シュレッダーとは違う。

新潮社文庫本

說得好！人又不是食物粉碎機！什麼都吃的才不叫人！
吃貨們就別找藉口了

4、《俺俺》的笔记-第102页

ぬるま湯につかりながら、人間の体の水は七〇%だっけかな、八〇%だっけかな、と考える。七、八割が水の風船が人間なんだから、この皮を破ったら、俺の半分以上は水に溶けちゃうわけだ。

俺は自分のへそを破る光景を思い浮かべる。へそから透明な汁が風呂の中に広がり出て、俺はゆっくりとしぼみ、しわしわになっていく。水の俺は湯に広がり、湯の温度を少しぬるくする。水に混じった俺のことを、もはや誰も俺だとは思わない。どこまでが俺でどこまでが水かなんて、誰にも区別はつかないのだ。

《俺俺》

新潮社文庫本

5、《俺俺》的笔记-第143页

俺らは山登り気分を楽しみたかったので、いかにも山道な稻荷山コースを歩いた芽吹いた葉が広がりきって、山全体が鮮やかな若緑に光っている。俺は、お茶漬けの中を浮遊する具のような気分になった。

新潮社文庫本

這段描述太搞笑了~

6、《俺俺》的笔记-第84页

早上起來，發現“媽媽”和昨天一樣又在為自己做飯，仍然聞到了早餐的香味

我還以為又是一部《土撥鼠日》呢--

(就.....就想寫這句話而已.....)

7、《俺俺》的笔记-第312页

新潮社文庫本

そうなのだ、俺は今、人の役に立っている！仕返しだろうがなんだろうが、俺は奴が生きるために必要な栄養分だ。俺は今、心から必要とされている！俺には意味がある！

俺はもう死んでいたが、この時初めて、「生きていてよかった」と感じた。自分が生きていたことに価値があったのだ、と思えた。食われていることが快感だった。

歡びが、失われた体の中を駆けてめぐる。血が沸き立ち、躍っている。死んでいるけれど、鼓動が、瞬きが、体の刻むあらゆるリズムが、音楽を奏でている。

食べてくれてありがとう！俺はヤツに感謝していた。俺は今幸せだ。絶叫していた。甘美な涙まで流れてくる。

到最後就好變態啊ORZ

《俺俺》

版权说明

本站所提供下载的PDF图书仅提供预览和简介，请支持正版图书。

更多资源请访问：www.tushu000.com